

令和3年10月21日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会  
(公印省略)

「感染症発生動向調査情報（第41週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

**【問合せ先】**

大阪府医師会・地域医療1課(小山)  
TEL 06-6763-7012

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2021年 第41週（10月11日～10月17日）

## 今週のコメント

～手足口病/ヘルパンギーナ～ 手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

### 定点把握感染症

「手足口病/ヘルパンギーナ さらに増加」

第41週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,631例であり、前週比16.7%増であった。

定点あたり報告数の第1位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しんの順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ3.21、2.66、1.07、0.53、0.30である。

手足口病は前週比33%増の632例で、北河内7.96、大阪市北部7.57、南河内4.06、大阪市東部3.47、中河内2.80であり、北河内ブロック、大阪市北部ブロックで警報レベル基準値5を超えている。

感染性胃腸炎は3%増の524例で、南河内4.50、中河内3.25、三島2.94であった。

ヘルパンギーナは43%増の210例で、大阪市北部4.50、中河内2.05、北河内1.08である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%減の104例で、泉州1.55、中河内1.35、大阪市南部0.94であった。

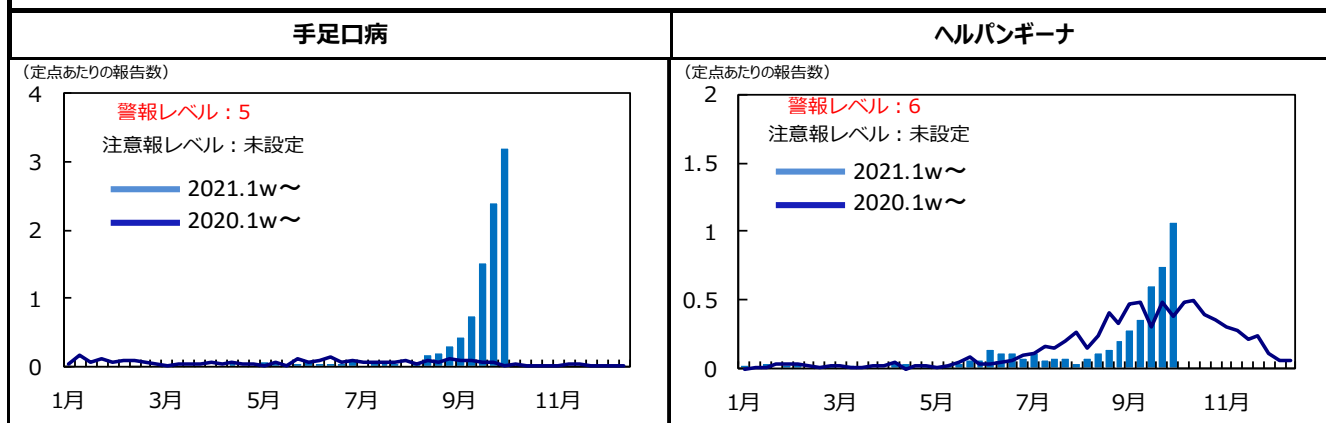


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2021年 第41週10月11日～10月17日）

第41週の順位	第40週の順位	感染症	2021年 第41週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2020年 第41週の 定点あたり 報告数	2021年第41週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	2	手足口病	3.21	33%増	0.02	1歳_45%
2	1	感染性胃腸炎	2.66	3%増	1.78	1歳_20%
3	3	ヘルパンギーナ	1.07	43%増	0.38	2歳_33%
4	4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	4%減	0.45	4歳_17%
5	5	突発性発しん	0.30	12%減	0.42	1歳_55%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.00	増減なし	0.01	20歳以上(1例) _100%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

## 第41週のコメント

～百日咳～ 生後3か月からの予防接種が重要

全数把握感染症	
百日咳	
<p>百日咳は、百日咳菌 (<i>Bordetella pertussis</i>) による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。</p> <p>2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。</p> <p><a href="#">感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)</a>  <a href="#">百日咳とは(国立感染症研究所)</a></p>	

表2. 大阪府全数報告数（2021年 第41週10月11日～10月17日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります  
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ( )内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5	1		1	1	1			1	150
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2			1		1				106
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5					1	1		3	142
	梅毒	9				1			1	7	627
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1								1	20
	百日咳	6							5	1	30
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	603	2020年1月以降累計								201,755
結核 (2021年8月分)	結核 新登録患者数：85名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 36名) (府内累積報告数 752名、内 肺・喀痰塗抹陽性 279名)										

(2021年10月19日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の『11月1日まで』と『11月2日以降』をご覧ください。](#)



前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2021年10月19日

(ブロック別)

第41週 2021年10月11日～2021年10月17日

定点数	ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位	
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部										
小児科		23	16	26	20	16	19	20	14	10	15	18	84	57	19	12	8	9	8	197		
眼科		5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52		
基幹		2	2	2	2	1	2	1	4				7	4	2	1	2	0	0	16		
インフルエンザ		35	24	41	31	24	29	33	20	15	22	27	131	84	29	18	13	13	13	301		
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	0	8	▼ 4	△ 6	△ 6	▽ 0	△ 1	▽ 6	▽ 1	△ 4	▽ 3	△ 17	▽ 14	▽ 0	△ 5	△ 1	0	▼ 1	39		
	咽頭結膜熱	0	0	△ 2	2	1	△ 1	5	△ 2	▼ 0	1	△ 3	6	△ 6	△ 1	△ 1	0	0	△ 1	△ 17		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	△ 1	7	▼ 3	27	▽ 3	▽ 3	▲ 31	▲ 7	▲ 5	0	▽ 17	△ 40	29	▽ 3	27	▽ 1	0	△ 3	104	4	
	感染性胃腸炎	▲ 60	47	▽ 63	65	△ 72	53	△ 54	△ 37	18	▼ 6	49	198	110	53	▽ 35	△ 23	16	32	524	2	
	水痘	2	△ 1	△ 4	▽ 0	▽ 0	▽ 0	△ 10	△ 2	1	0	1	△ 11	△ 4	▽ 0	▽ 0	△ 1	1	△ 1	△ 21		
	手足口病	▲ 20	▽ 20	207	▲ 56	▲ 65	▲ 52	△ 17	106	△ 18	▲ 52	▲ 19	257	△ 195	▲ 52	36	▲ 7	10	▲ 15	▲ 632	1	
	伝染性紅斑	▲ 2	0	△ 1	0	0	0	0	▽ 0	0	0	▽ 0	0	▽ 0	0	0	0	0	1	△ 1	3	
	突発性発しん	7	2	▽ 10	▽ 6	▼ 4	▽ 2	4	8	▲ 5	△ 2	▲ 10	▽ 13	▲ 25	▽ 2	5	1	3	▽ 2	60	5	
	ヘルパンギーナ	△ 12	▽ 4	△ 28	▲ 41	▲ 15	△ 20	▲ 7	△ 63	▽ 4	▽ 10	▲ 6	37	▲ 83	△ 20	▽ 15	△ 1	△ 6	△ 13	▲ 210	3	
	流行性耳下腺炎	△ 3	△ 1	△ 5	▽ 1	0	△ 1	0	△ 1	▽ 0	0	▽ 0	△ 5	▼ 1	△ 1	▽ 1	0	0	△ 4	△ 12		
把握科 疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	▽ 0	0	0	▽ 0	△ 1	0	0	0	▽ 0	△ 1	0	0	0	0	0	▽ 1		
	流行性角結膜炎	▽ 0	0	△ 2	▽ 0	0	▽ 0	▲ 2	△ 1	△ 1	2	0	△ 2	△ 4	▽ 0	0	0	0	△ 2	△ 8		
合計		▲ 107	90	329	204	△ 166	△ 132	△ 131	△ 234	53	77	108	586	472	△ 132	125	△ 35	37	75	1631		
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イ定	インフルエンザ	0	0	△ 1	0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	△ 1	0	▽ 0	0	0	0	0	0	1	

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2021年40週(10月04日～10月10日)

1～4類 (全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ (A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	235
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	0
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	0
腸管出血性大腸菌感染症	47
腸チフス	0
パラチフス	0
E型肝炎	0
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	0
Eキノコックス症	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	1
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
サル痘	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	1
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	2
デング熱	0
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	27
日本脳炎	1
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ポツリヌス症	0
マラリア	0
野兔病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	38
レプトスピラ症	4
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部 (全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	3
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	18
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	6
クリプトスポリジウム症	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11
後天性免疫不全症候群	14
ジアルジア症	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	8
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	1
先天性風しん症候群	0
梅毒	113
播種性クリプトコックス症	2
破傷風	2
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0
百日咳	9
風しん	0
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	10	0.00
R Sウイルス感染症	1511	0.48
咽頭結膜熱	262	0.08
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1396	0.44
感染性胃腸炎	6790	2.15
水痘	247	0.08
手足口病	4826	1.53
伝染性紅斑	27	0.01
突発性発しん	1087	0.34
ヘルパンギーナ	1926	0.61
流行性耳下腺炎	142	0.05
急性出血性結膜炎	4	0.01
流行性角結膜炎	150	0.22
細菌性髄膜炎	12	0.03
無菌性髄膜炎	8	0.02
マイコプラズマ肺炎	7	0.01
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	1	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-

定点数	報告数
インフルエンザ	4926
小児科	3153
眼科	696
基幹病院	478

9月(月報)	報告数	定点当り
性感染症・基幹定点		
性器クラミジア感染症	2548	2.59
性器ヘルペスウイルス感染症	738	0.75
尖圭コンジローマ	452	0.46
淋菌感染症	839	0.85
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1189	2.50
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	55	0.12
薬剤耐性緑膿菌感染症	21	0.04

定点数	報告数
STD	982
基幹病院	476

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。